VP-1200U
取扱説明書 1
セットアップと使い方の概要編

EPSON
EXCEED YOUR VISION

- プリンタを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

本書の PDF データがソフトウェア CD-ROM に収録されています。本書の紛失時などにご活用ください。

ご使用の前に 2

安全上のご注意や各部の名称など、知っておいていただきたい事項を説明しています。

プリンタのセットアップ 10

部品の取り付けからプリンタドライバのインストールまでの作業を説明しています。

給紙と排紙 17

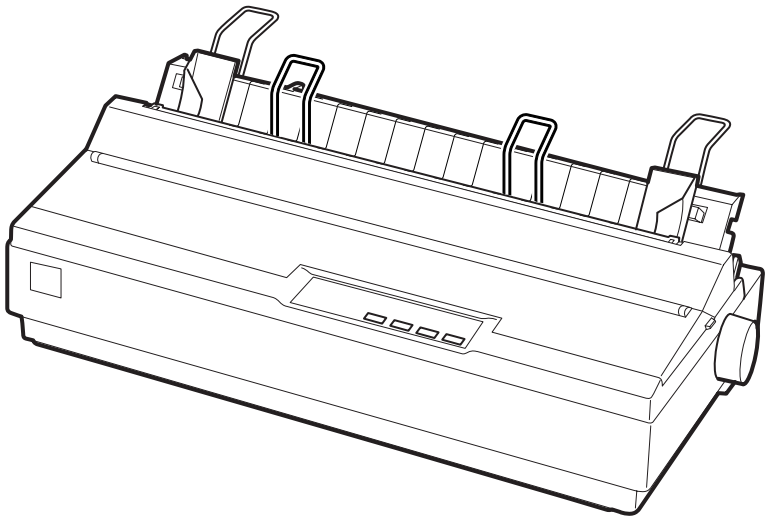
給紙方法、連続紙や単票紙の仕様などを説明しています。

リボンカートリッジの交換 28

消耗品であるリボンカートリッジの交換手順を説明しています。

さらに詳しい情報とサービスのご案内 30

CD-ROM 収録の『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）の見方や、サービス・サポートのご案内をしています。



410668900

© セイコーエプソン株式会社　2006

Printed in XXXXX 06.xx-xx　XXX

ENERGY STAR

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

!注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。

掲載画面

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法とプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	プリンタドライバの表記
単票紙を「用紙ガイド」から手差し給紙する	手差し
単票紙をカットシートフィーダから給紙する	カットシートフィーダ
連続紙をリアプッシュトラクタから給紙する	プッシュトラクタ
連続紙をプルトラクタ（リア、ボトム）から給紙する	プッシュトラクタ

プリンタドライバの表記“カットシートフィーダ”は本機に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。他のソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。
＜例＞
カットシートフィーダファーストビン、カットシートフィーダ / ビン #1

PC-98 系の表記

本書中では、EPSON PC シリーズ、PC-9801 シリーズ / PC-9821 シリーズを総称して“PC-98 系”と表記します。

商標

EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に 2
安全上のご注意 ... 2
各部の名称と役割 ... 7
プリンタのセットアップ 10
セットアップの流れ ... 10
1. 部品の取り付け ... 11
2. リボンカートリッジの取り付け ... 12
3. 電源接続と動作確認 ... 13
4. コンピュータとの接続 ... 14
5. プリンタドライバのインストール ... 15
給紙と排紙 17
給紙経路と用紙 ... 17
連続紙の給紙と排紙 ... 19
単票紙の給紙と排紙 ... 26
連続紙と単票紙の切り替え ... 27
リボンカートリッジの交換 28
さらに詳しい情報とサービスのご案内 30
PDF マニュアルの紹介と使い方 ... 30
各種サービス・サポートのご案内 ... 31
保守サービスのご案内 ... 31

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。

本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
分解禁止を示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	必ず守っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。

設置に関するご注意

⚠警告
高温多湿の場所、換気の悪い場所、ホコリの多い場所には置かないでください。 発煙・発火や感電の原因となります。

⚠注意	
子供の手に届く所には、設置・保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。	**不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）には設置・保管しないでください。** 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
他の機械の振動が伝わるなど、振動しがちな場所には置かないでください。 落下によって、そばにいる人がけがをするおそれがあります。	**本製品の通風口をふさがないでください。** 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 次のような場所には設置しないでください。 • 押し入れや本箱など風通しの悪い狭い場所 • じゅうたんや布団の上 壁際に設置する場合は、壁から一定のすき間（10cm以上）を空けてください。また、毛布やテーブルクロスのような布をかけないでください。

本機は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（10 ～ 32 ℃）と湿度（15 ～ 85%）の場所

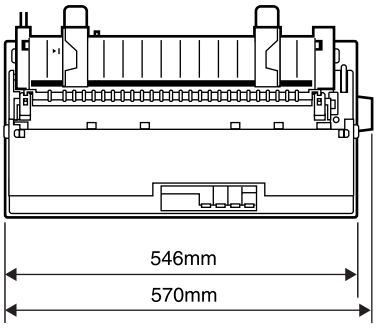
本機は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

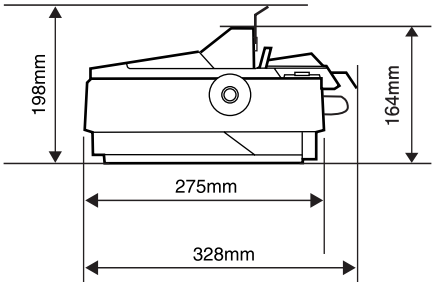
！注意 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本機を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本機の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

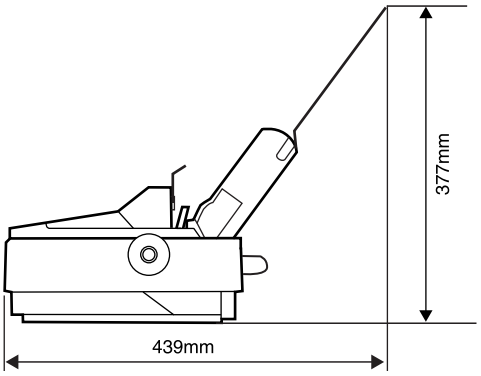
上面図



側面図



カットシートフィーダ（オプション）取り付け時



電源に関するご注意

⚠警告

表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱による感電・火災のおそれがあります。AC100Vの電源コンセントから直接取ってください。

電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因になります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

電源プラグは、異物が付着した状態で使用しないでください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。
- ホコリなどの異物が付着したまま使用しない
- ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

⚠注意

本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

ケーブルやオプション製品の着脱時や消耗品の交換時は、必ず本機の電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
感電や故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

取り扱い上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

⚠注意

本製品の上に乗ったり、重い物を置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。

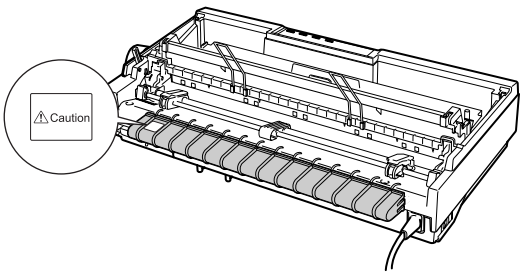
各種ケーブル（コード）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災のおそれがあります。

オプション類を装着するときは、表裏や前後を間違えないでください。
間違えて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。

使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。

本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。

USB ケーブルホルダ部に手をかけて、本製品を持ち上げないでください。
ホルダが外れて、プリンタが落下し、けがなどの原因となることがあります。



用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをすることがあります。

さらに以下の点も注意してください。

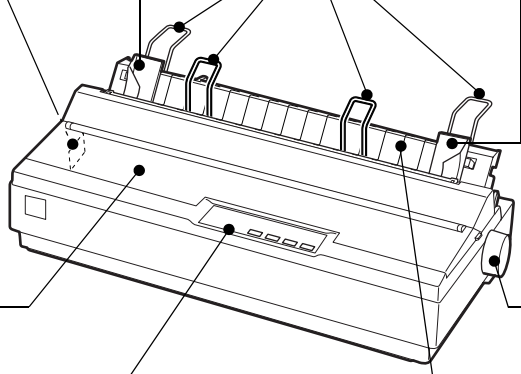
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面



エッジガイド
用紙ガイドから 1 枚ずつ給紙するときに単票紙の側面に合わせます。

用紙 / 排紙サポート
用紙を支えます。

電源スイッチ
プリンタの電源をオン（ | ）/ オフ（○）します。

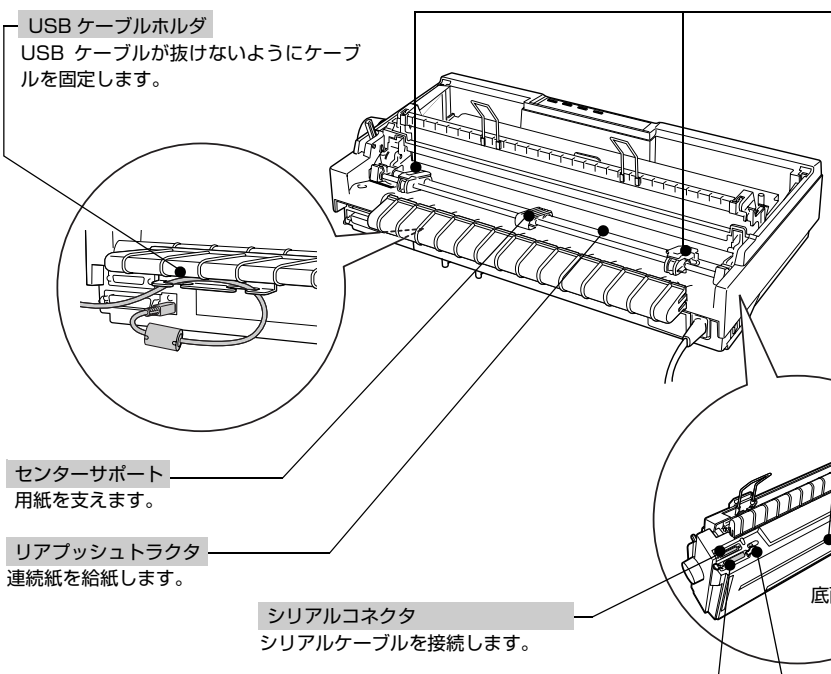
プリンタカバー
リボンカートリッジの取り付けや交換、詰まった用紙を取り除くときなどに開けます。通常は閉じておきます。

操作パネル
☞本書 8 ページ「操作パネル」

紙送りノブ
用紙がプリンタ内に詰まったときなど、用紙を手動で送り出すときに使用します。通常は使用しません。

用紙ガイド
単票紙を手差し給紙します。

背面 / 底面



USB ケーブルホルダ
USB ケーブルが抜けないようにケーブルを固定します。

スプロケット
連続紙の幅に合わせてスプロケットを調節し、連続紙を固定します。

連続紙給紙口（ボトム）
プリンタ底面から連続紙を給紙します。

センターサポート
用紙を支えます。

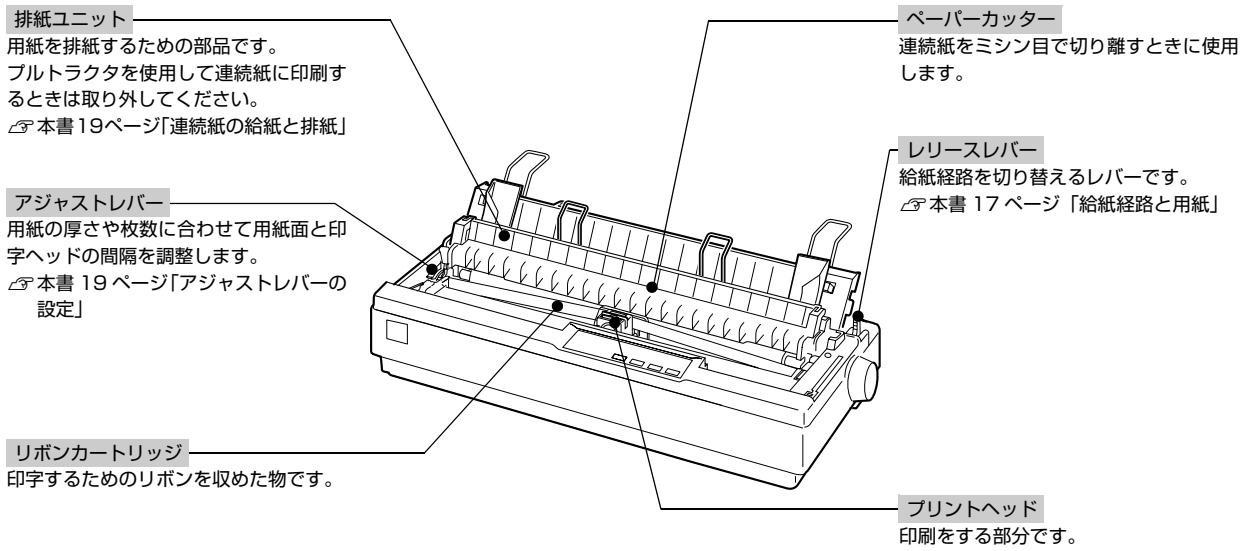
リアプッシュトラクタ
連続紙を給紙します。

シリアルコネクタ
シリアルケーブルを接続します。

パラレルコネクタ
パラレルケーブルを接続します。

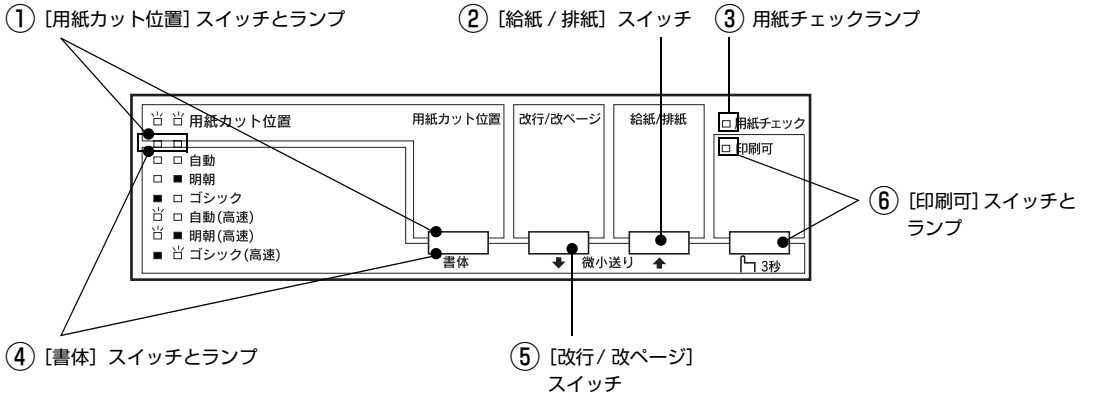
USB コネクタ
USB ケーブルを接続します。

内部



操作パネル

操作パネル上のランプでプリンタの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。



ランプの表記　□：点灯　■：消灯　⿰：点滅

①[用紙カット位置]スイッチとランプ

連続紙への印刷終了後、スイッチを押すと連続紙が用紙カット位置に紙送りされます（ティアオフ機能）。
☞ 本書 19 ページ「連続紙の給紙と排紙」

⿰ ⿰	連続紙が用紙カット位置にある
■ ■	連続紙が用紙カット位置以外の位置にある

②[給紙 / 排紙]スイッチ

連続紙のとき	プッシュトラクタに連続紙をセットした状態でスイッチを押すと給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、プッシュトラクタ位置へ排紙します。プルトラクタから給紙しているときは使用しないでください。
単票紙のとき	印刷位置に用紙がない状態でスイッチを押すと、カットシートフィーダ（オプション）にセットされた用紙を給紙します。 印刷位置に用紙がある状態でスイッチを押すと、排紙します。

参考 用紙ガイドから給紙する場合は［給紙 / 排紙］スイッチを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込むと用紙は自動給紙されます。

③用紙チェックランプ

□	用紙がない状態、またはレリースレバーの設定に問題がある
𠂤	用紙が詰まった、または正常に排紙されなかった

④[書体]スイッチとランプ

印刷するプリンタ内蔵書体を選択します。[印刷可]スイッチを 3 秒以上押して「ピッ」というブザー音が鳴ったら指を離し、[書体]スイッチを押して切り替えます。高速に設定すると、文字パターンのドットを間引きして通常より高速に印字します。試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定してください。

□	□	自動	ソフトウェアの書体設定に従って印刷します。ソフトウェアで書体の設定がされていないときは、漢字は明朝体、英数文字はエプソンローマンで印刷します。
𠂤	□	高速	
□	■	明朝	漢字は明朝体、英数文字はエプソンローマンで印刷します。ただし、ソフトウェアで TrueType フォントなどの設定がされているときは、ソフトウェア上で設定した書体で印刷されることがあります。
𠂤	■	高速	
■	□	ゴシック	漢字はゴシック体、英数文字はエプソンサンセリフで印刷します。ただし、ソフトウェアで TrueType フォントなどの設定がされているときは、ソフトウェア上で設定した書体で印刷されることがあります。
■	𠂤	高速	

プリンタ内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

参考 Windows 環境下で高速印字をするには、さらにプリンタドライバの［印刷品質］を［ドラフト］に設定する必要があります。
☞『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタドライバの設定」－「設定項目」

⑤[改行 / 改ページ]スイッチ

連続紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。 スイッチを押し続けると改ページします。
単票紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。 スイッチを押し続けると排紙します。

⑥[印刷可]スイッチとランプ

短く押す （3 秒未満）	印刷可状態と印刷不可状態を切り替えます。
長く押す （3 秒以上）	用紙の位置を微調整する［微小送りモード］になります。「ピッ」というブザーが鳴ったら指を離してください。 ランプが点滅し、微小送りができます。微小送りモードを終了させるには、［印刷可］スイッチを短く押します。

プリンタのセットアップ

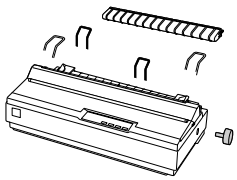
プリンタを箱から取り出し、同梱品の確認が終了したら、プリンタが使用できるようにセットアップします。

セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

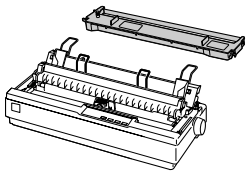
1 部品の取り付け ☞11 ページ

同梱されている USB ケーブルホルダ、紙送りノブ、用紙サポートを取り付けます。



⇩

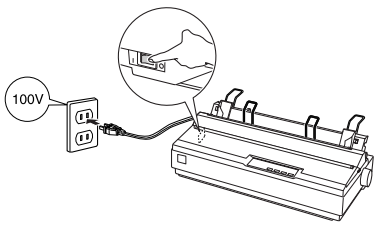
2 リボンカートリッジの取り付け ☞11 ページ



⇩

3 電源接続と動作の確認 ☞13 ページ

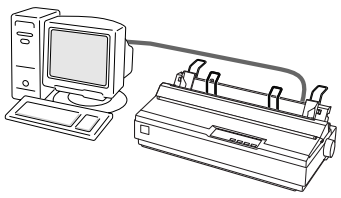
電源に接続し、プリンタが問題なく使用できるかどうかを確認します。動作確認はコンピュータと接続していない状態で行います。



⇩

4 コンピュータとの接続 ☞14 ページ

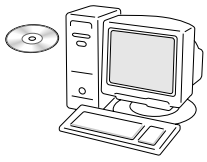
お手持ちの USB、パラレル、シリアルいずれかのケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。



⇩

5 プリンタドライバのインストール ☞15 ページ

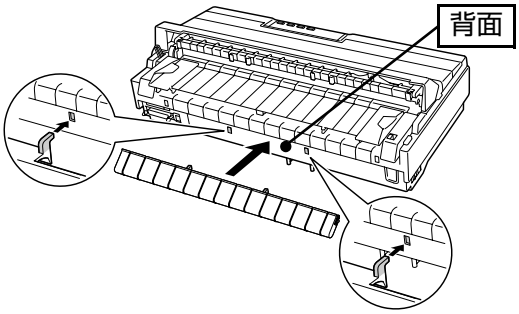
Windows で使用するには、同梱のソフトウェア CD-ROM に収録されているプリンタドライバやユーティリティソフトなどをコンピュータにインストールする必要があります。



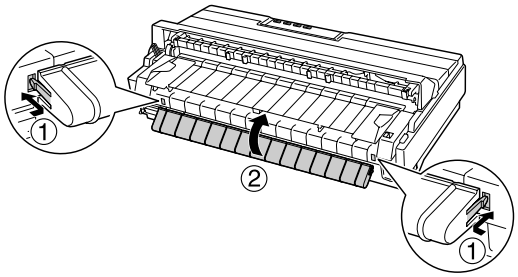
1. 部品の取り付け

同梱されている USB ケーブルホルダ、紙送りノブ、用紙サポート（4 個）をプリンタに取り付けます。

1 **USB ケーブルホルダのフックをプリンタの穴に掛けます。**



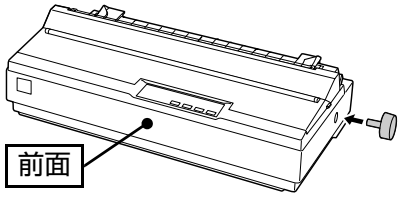
2 **左右の突起を押した状態で、プリンタ背面に差し込みます。**



> ⚠注意
> USB ケーブルホルダ部に手をかけて、本製品を持ち上げないでください。ホルダが外れて、プリンタが落下し、けがなどの原因となることがあります。

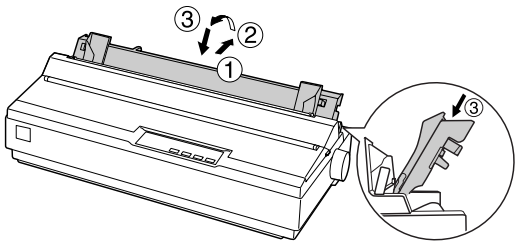
3 **プリンタ右側面の取り付け口に紙送りノブを差し込みます。**

プリンタの取り付け口内部の軸と紙送りノブ側の差し込み口の形状を確認して差し込んでください。

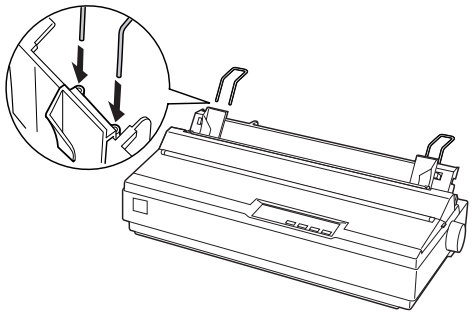


4 **用紙ガイドを起こします。**

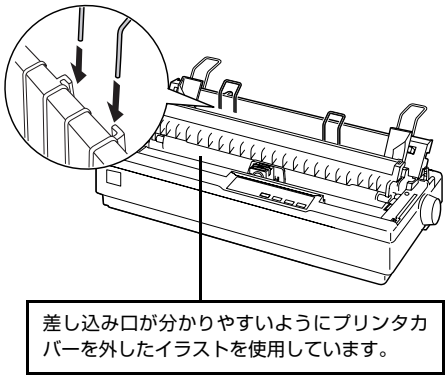
用紙ガイドを後方に少しずらしてから手前に起こし、下方に押して固定します。



5 **用紙サポートを用紙ガイドの差し込み口（2 箇所）に差し込みます。**



6 **用紙サポートを排紙ユニットの差し込み口（2 箇所）に差し込みます。**



差し込み口が分かりやすいようにプリンタカバーを外したイラストを使用しています。

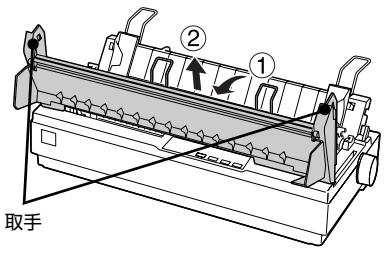
続いてリボンカートリッジを取り付けます。

2. リボンカートリッジの取り付け

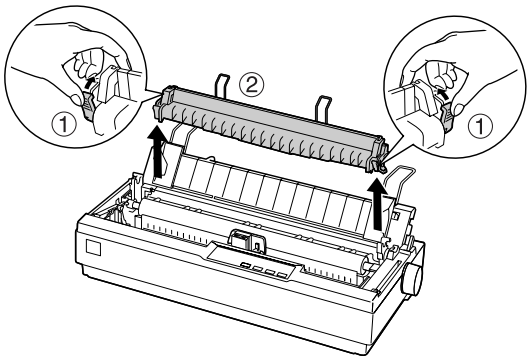
同梱されているリボンカートリッジをプリンタに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

1 **プリンタカバーを取り外します。**

奥側のカバーを手前に起こしてから、カバー左右の取っ手に指をかけ、手前に起こすようにして取り外します。

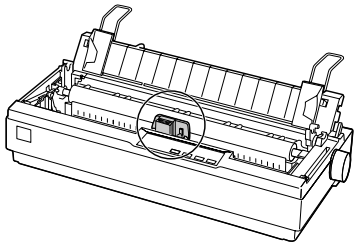


2 **排紙ユニット左右のツマミをつまんで、後ろ方向に回転させるようにして取り外します。**



3 **プリントヘッドが図のような位置にあることを確認します。**

図の位置にない場合は、プリンタの電源を入れて切ってください。電源オフ時にプリントヘッドは図の位置で停止します。

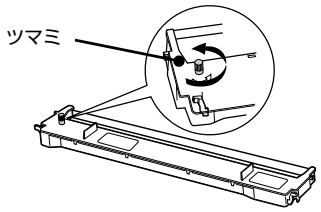


!注意

電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

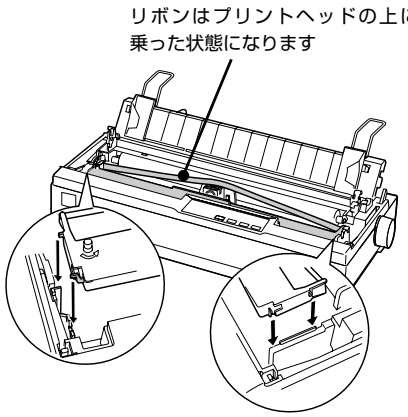
4 **リボンカートリッジを袋から出し、リボンのたるみを取ります。**

リボンを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。

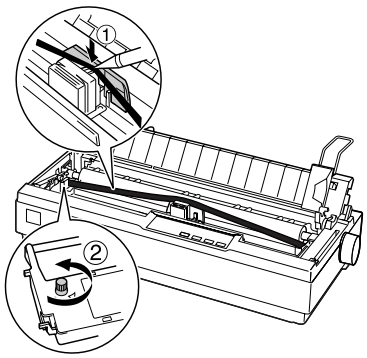


5 **リボンカートリッジの突起をプリンタ両側の溝に合わせ、固定されるまで押し込みます。**

カートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

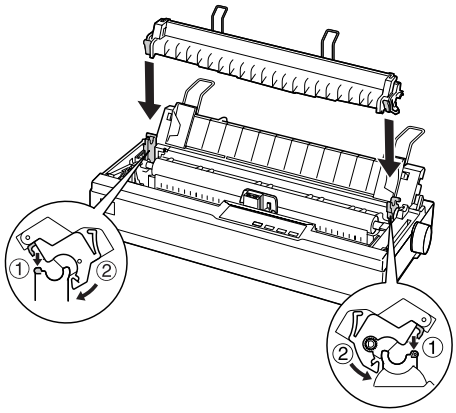


6 **リボンカートリッジのツマミを回しながら、ボールペンなどを使ってリボンを印字位置（プリントヘッドと同じ位置）まで下方に送ります。**

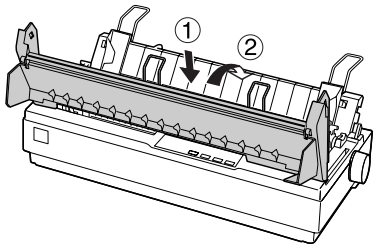


リボンカートリッジのツマミを再度回して、リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンがねじれたり折れていないことを確認してください。

7 **排紙ユニット両側のフックをプリンタ側に引っ掛け、ユニットの下部を押し込むようにして取り付けます。**



8 **プリンタカバーを取り付けます。**



続いて電源と接続してプリンタの動作確認を行います。

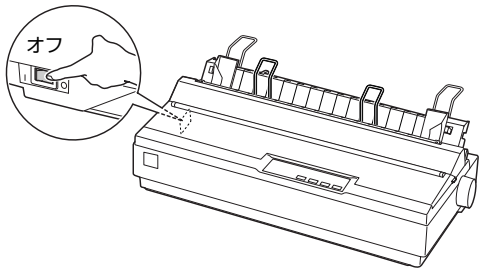
3. 電源接続と動作確認

電源コードを電源コンセントに接続して、プリンタ単体での動作確認を行います。

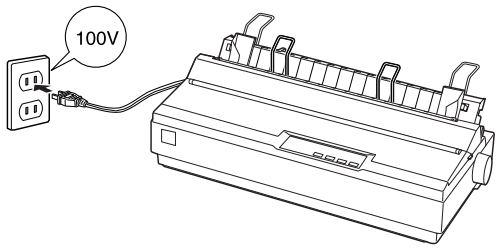
電源との接続

⚠注意
「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。
☞ 本書 2 ページ「ご使用の前に」

1 **プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。**



2 **AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。**

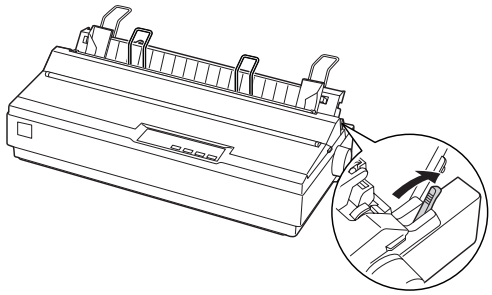


動作の確認

プリンタが正常に動作するかどうかをプリンタ内蔵の印字パターンを印刷して確認します。動作確認はコンピュータと接続していない状態で行います。B4 または A3 サイズの単票紙を用意してください。

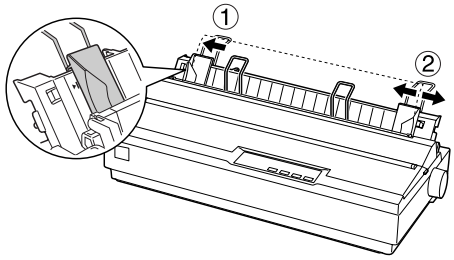
参考
- 用紙幅が小さいと用紙をはみ出して印刷します。
- 連続紙での動作確認もできます。連続紙の場合は、用紙幅 371mm（14.6 インチ）以上のものを用意してください。連続紙のセット方法は以下を参照してください。
☞ 本書 19 ページ「連続紙の給紙と排紙」

1 **レリースレバーを奥側に倒して、単票給紙（□）にします。**



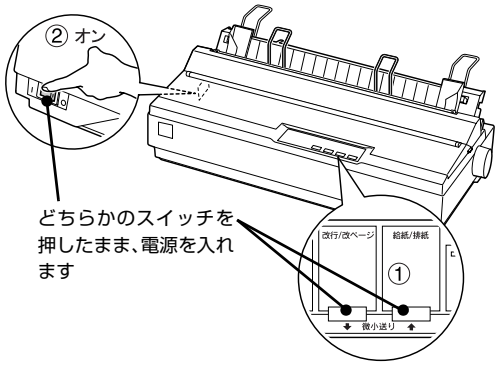
2 **エッジガイドを用紙の幅に合わせます。**
- B4 紙を使用する場合は、左のエッジガイドを用紙ガイドのマーク（⋈）の右側に合わせてから、右のエッジガイドを B4 横の用紙幅に合わせます。
- A3 紙を使用する場合は、左のエッジガイドを用紙ガイドのマーク（⋈）の左側にずらしてから、右のエッジガイドを A3 横の用紙幅に合わせます。

用紙はまだセットしません。



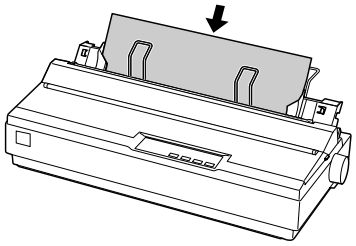
3 **[改行 / 改ページ] または [給紙 / 排紙] どちらかのスイッチを押したまま電源を入れます。**
- ［改行 / 改ページ］スイッチの押下で英数カナ文字モード印字をします。
- ［給紙 / 排紙］スイッチの押下で漢字モード印字をします。

用紙チェックランプが点灯します。



4 **エッジガイドに沿ってB4横またはA3横の単票紙を 1 枚セットします。**

単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して印字パターンを印刷し始めます。



5 **以下のような印字パターンを繰り返し印刷します。**

続けて印刷するときは、印刷が終了したら次の用紙をセットします。自動的に給紙して印字パターンの続きを印刷します。

＜印刷結果例＞

・英数カナ文字モード

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

・漢字モード

```
…  ‥  ‘  ’  “  ”  （  ）
∞  ∴  ♂  ♀  °  ′  ″  ℃
↑  ↓  ＝  ∈  ∋  ⊆  ⊇  ⊂
♯  ♭  ♪  †  ‡  ¶  ○  0
S  T  U  V  W  X  Y  Z
```

6 **[印刷可] スイッチを押して印刷を終了させてから、プリンタの電源を切ります。**

[印刷可] スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、[給紙／排紙] スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

7 **印刷結果を確認します。**

5 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に動作しています。

手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しない、などのトラブルが発生したときは『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）を参照して解決してください。

☞ 本書 30 ページ「PDF マニュアルの紹介と使い方」

続いてコンピュータに接続します。

4. コンピュータとの接続

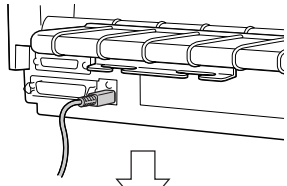
プリンタをコンピュータに接続します。USB、パラレル、シリアルのいずれかのインターフェイスケーブルを用意してください。

> **参考**
> お使いのコンピュータや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

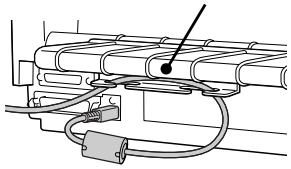
1 **プリンタとコンピュータの電源スイッチがオフになっていることを確認します。**

2 **インターフェイスケーブルをプリンタ背面のコネクタに接続します。**

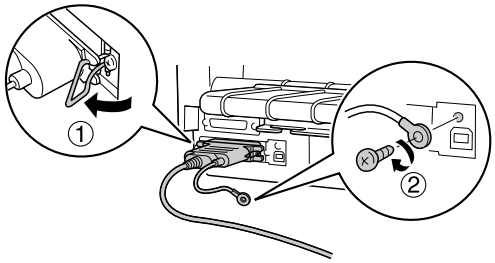
・USB ケーブル（型番 USBCB2）



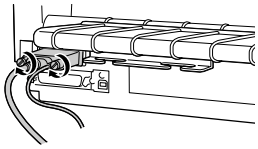
USBケーブルをUSBホルダにかけます



・パラレルケーブル（型番 PRCB4N）



・シリアルケーブル



3 **もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。**

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタドライバなどをインストールします。次ページへ進んでください。
DOS 環境でのセットアップは以上です。

5. プリンタドライバのインストール

Windows プリンタドライバやプリンタ監視ユーティリティ（EPSON プリンタウィンドウ !3）、USB デバイスドライバなどをインストールします。

参考

- EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。プリンタドライバのインストール後、続けてインストールすることができます。
  EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  * パラレル /USB 接続でのローカルプリンタ
  * Windows 共有プリンタ
  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- Windows プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしないようにしてください。

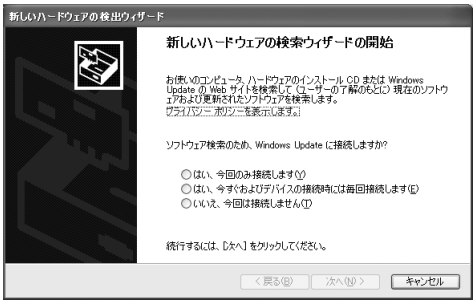
1 **プリンタの電源を切ります。**
指示があるまでプリンタの電源を入れないでください。

2 **Windows を起動します。**
Windows NT4.0/2000/XP では、管理者権限（Administrators）のあるユーザーでログオンしてください。

参考

以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。

< Windows 2000/XP >



< Windows 98 >

3 **ソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

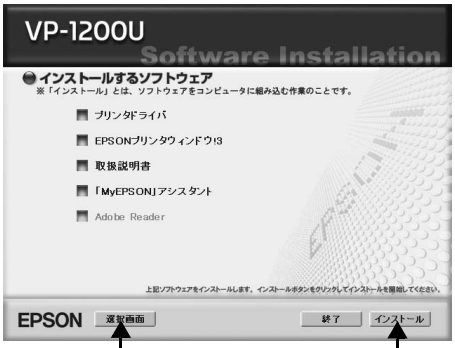
4 **［続ける］をクリックします。**

参考

上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

5 **使用許諾契約書の内容を確認して［同意する］をクリックします。**

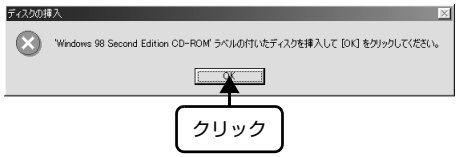
6 **インストールするソフトウェアを確認して［インストール］をクリックします。**



EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしないときは、［選択画面］をクリックして、EPSON プリンタウィンドウ !3 のチェックを外してからインストールを始めてください。

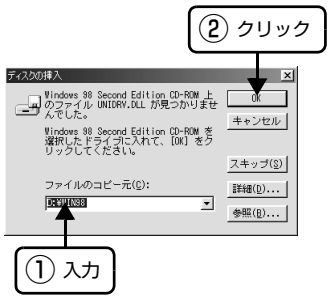
参考

- Windows 2000/XP では、インストールの途中で［デジタル署名が見つかりませんでした］または［Windows ロゴテスト］のダイアログが表示されることがあります。［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。
  本製品に添付のプリンタソフトウェアであれば問題なくお使いいただけます。
- オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM を要求する画面が表示されたら、画面に従って以下の手順でインストールを進めてください。
  ① オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM をコンピュータにセットして［OK］をクリックします。
  ＜例＞ Windows 98 Second Edition の場合



クリック

② 以下の画面が表示されたら、セットした CD-ROM のドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］をクリックします。
＜例＞



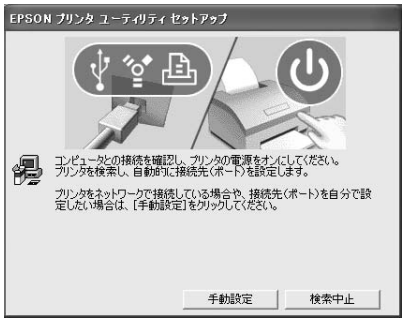
＜入力例＞ CD-ROM が D ドライブの場合

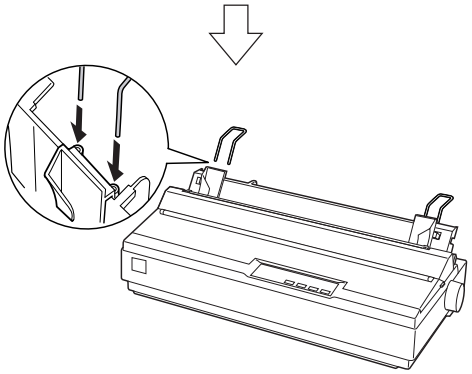
OS	入力例
Windows 2000/XP	D：￥WIN2000
Windows NT 4.0	D：￥WINNT40
Windows 98	D：￥WIN98
Windows Me	D：￥WINME

③ オペレーティングシステムの CD-ROM を取り出し、再び本製品のソフトウェア CD-ROM をセットして、［OK］をクリックします。

7 **しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンタの電源を入れてください。**

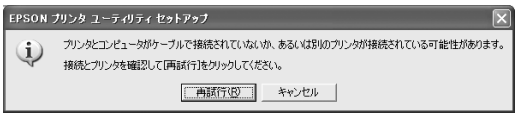
プリンタの接続先を設定します。





参考

7 の画面表示後、約３分経過してもプリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。



プリンタの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、［再試行］をクリックし、［手動設定］から接続しているポートを選択してください。

8 **以下のような画面が表示されたら［OK］をクリックします。**

ご利用の環境によって表示される画面が異なります。再起動を促すメッセージが表示されたら、Windows を再起動してください。

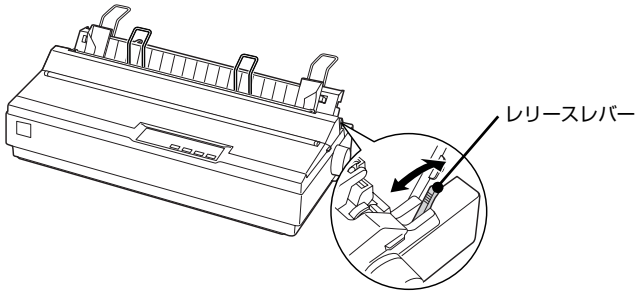
以上で終了です。

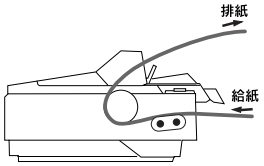
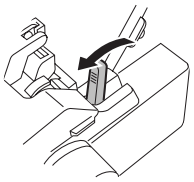
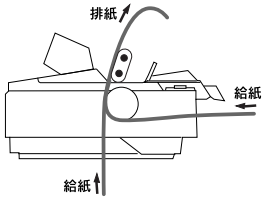
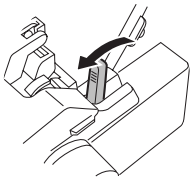
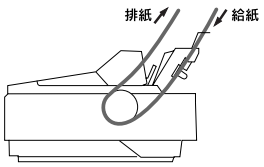
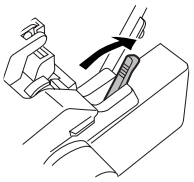
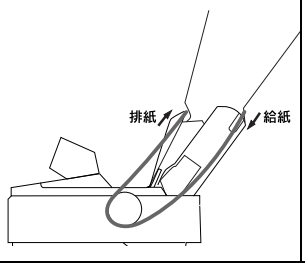
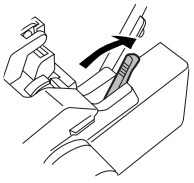
給紙と排紙

本機の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

本機には以下のような給紙経路があり、使用する用紙種類に応じてレリースレバーを設定します。



用紙種類		給紙経路	レリースレバーの設定	給紙方法
連続紙	• 上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙） • 複写紙は最大４枚(オリジナル+ ３枚）まで可 • ラベル連続紙の台紙への印刷は不可		連続紙（）側 	プッシュトラクタから連続紙を給紙します。
			連続紙（ ）側 	プルトラクタから連続紙を給紙します。 トラクタなどの部品を付け替える必要があります。
単票紙	• 上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙） • 複写紙は最大４枚(オリジナル+ ３枚）まで可 • 単票ラベル紙は使用不可		単票給紙（）側 	用紙ガイドから単票紙を手差し給紙します。
			単票給紙（ ）側 	カットシートフィーダ（オプション）から単票紙を自動給紙します。

印刷できる用紙

本機で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

☞『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

・連続紙

項目	一枚紙	複写紙	ラベル紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙（オリジナル+ 3 枚まで）	台紙、ラベル共に上質紙
用紙幅（台紙幅）	101.6 ～ 406.4mm（4 ～ 16 インチ）		
折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm（4 ～ 22 インチ）		
用紙厚	0.065 ～ 0.10mm	0.12 ～ 0.32mm	0.16 ～ 0.19mm（台紙含む）
用紙連量	45 ～ 70kg	34 ～ 50kg	－

参考

プリンタドライバでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。

② プリンタドライバ上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 8inch ×縦 4.67inch の用紙とします）。

③ プリンタドライバの[用紙サイズ]の一覧から、8×4.67inch に合うサイズとしてとして、「10 × 4 2/3inch」を選択します。プリンタドライバ上では、4.67inch を 4 2/3inch と分数で表現しています。

・単票紙

項目	給紙経路	一枚紙	複写紙
品質		上質紙、ノンカーボン紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	用紙ガイド	148 ～ 420mm（5.8 ～ 16.5 インチ）	
	カットシートフィーダ	182 ～ 420mm（7.2 ～ 16.5 インチ）	（給紙不可）
用紙長	用紙ガイド	100 ～ 364mm（3.9 ～ 14.3 インチ）	
	カットシートフィーダ	210 ～ 364mm（8.3 ～ 14.3 インチ）	（給紙不可）
用紙厚	用紙ガイド	0.065 ～ 0.14mm（ハガキは約 0.22mm）	0.12 ～ 0.32mm
	カットシートフィーダ	0.07 ～ 0.14mm	（給紙不可）
用紙連量	用紙ガイド	45 ～ 78kg（ハガキは 165kg 相当）	34 ～ 50kg
	カットシートフィーダ	55 ～ 78kg	（給紙不可）

※カットシートフィーダはオプションです。

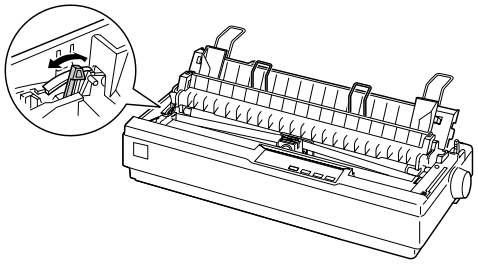
※用紙連量は、四方判紙（788 × 1091mm ^{2}）1000 枚の質量を kg で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	用紙ガイド		カットシートフィーダ
	一枚紙	複写紙	一枚紙
A3（297 × 420mm）	横長	横長	横長
A4（210 × 297mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
A5（148 × 210mm）	縦長、横長	縦長、横長	－
A6（105 × 148mm）	横長	横長	－
B4（257 × 364mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
B5（182 × 257mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長
ハガキ（100 × 148mm）	横長	－	－

アジャストレバーの設定

セットした用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。



用紙の種類・枚数		アジャストレバーの設定値			
		0	1	2	3
1 枚紙	連続紙	○			
	単票紙	○	○		
複写紙	2 枚	○	○		
	3 枚		○	○	
	4 枚			○	○
ラベル				○	
紙厚		0.06 ～ 0.12 mm	0.12 ～ 0.19 mm	0.19 ～ 0.26 mm	0.26 ～ 0.32 mm

※ -1、4、5、6 は使用しません。

! 注 意

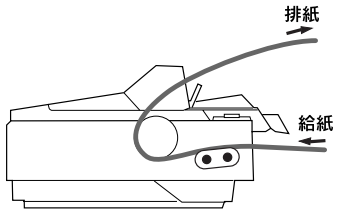
- 厚紙や特殊紙に印刷する際は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定するときは、必ず印刷可能領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印刷可能領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、リボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。

連続紙の給紙と排紙

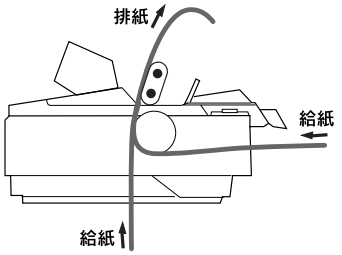
トラクタユニットを付け替えることで、プッシュトラクタ（プリンタ背面）とプルトラクタ（プリンタ底面 / 背面）の 2 つの給紙方法で連続紙が給紙できます。

※ 工場出荷時は、プッシュトラクタ位置にトラクタユニットが取り付けられています。

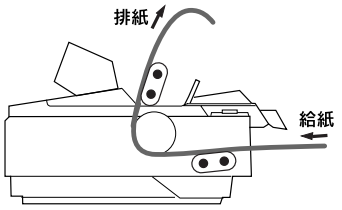
プッシュトラクタ



プルトラクタ



プッシュプルトラクタ
プッシュトラクタとオプションのプルトラクタユニット（VP1200PTU）を組み合わせて給紙できます。



トラクタユニットの付け替え

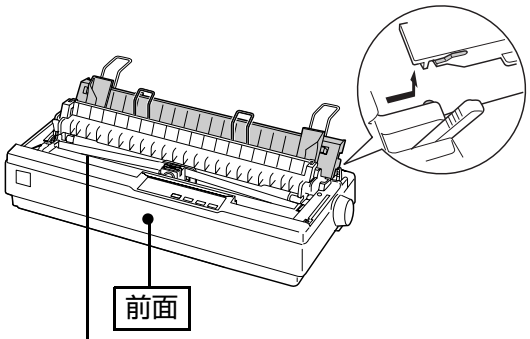
連続紙の給紙方法を変更する場合は、トラクタユニットを付け替えます。

プルトラクタ位置への取り付け

オプションのトラクタユニット（VP1200PTU）をプルトラクタ位置に取り付ける場合は、1 のあと 4 へ進んでください。

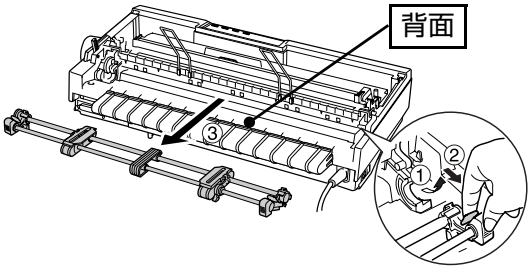
1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタカバーを開けて、用紙ガイドを引き上げ、手前にずらして取り外します。**

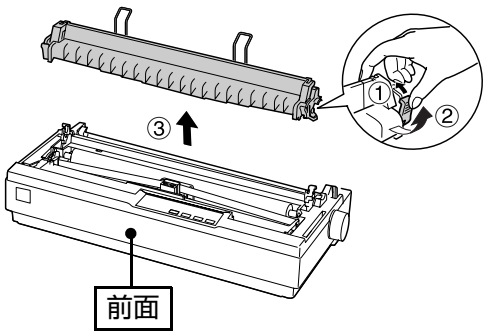


細部をご覧いただくために、イラストはプリンタカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

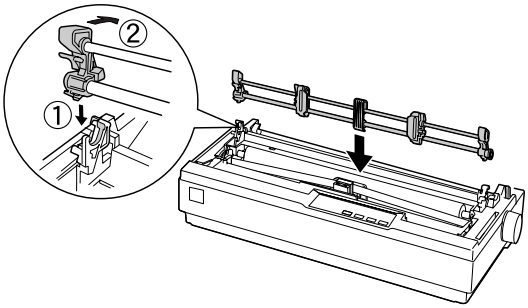
3 **プリンタ背面にあるトラクタユニット両側のツマミをつまんで、前方に起こして引き上げて取り外します。**



4 **排紙ユニットの両側をつまんで、後方に回転させるようにして取り外します。**



5 **プリンタ両側の受け部分にトラクタユニットを置き、プリンタ後方に倒すようにして固定します。**



以上で終了です。

> **参考**
> 取り外した部品はなくさないように保管してください。

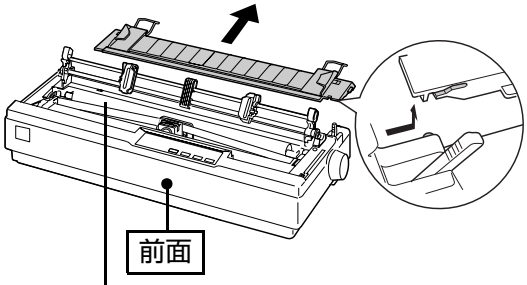
プッシュトラクタ位置への取り付け

工場出荷時に、トラクタユニットが取り付けられている位置です。

> **参考**
> オプションのプルトラクタユニットをプッシュトラクタ位置へ取り付けることはできません。

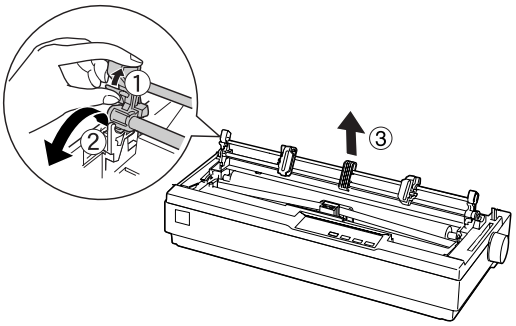
1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタカバーを開けて、用紙ガイドを引き上げ、手前にずらして取り外します。**

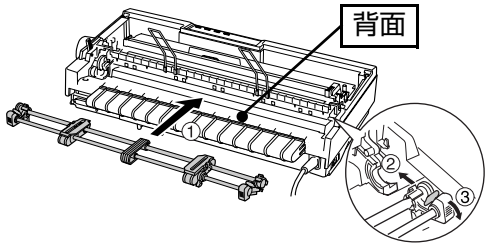


細部をご覧いただくために、イラストはプリンタカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

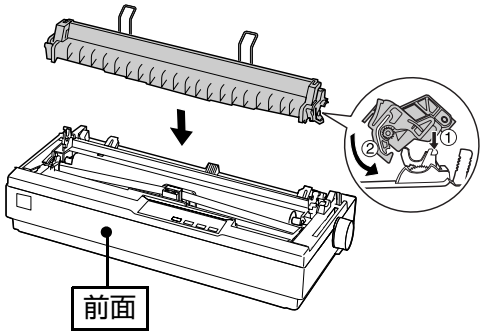
3 トラクタユニット両側のツマミをつまんで、手前に少し回転させてから、引き上げて取り外します。



4 プリンタ両側の受け部分にトラクタユニットを置き、プリンタ後方に倒すようにして固定します。



5 排紙ユニット両側のフックをプリンタ側にひっかけ、部品下部を押し込むようにして固定します。



以上で終了です。

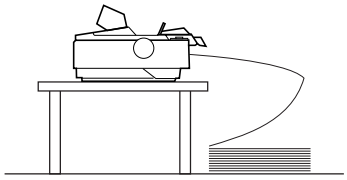
> **参考**
> 取り外した部品はなくさないように保管してください。

後方(プッシュトラクタ)からの給排紙

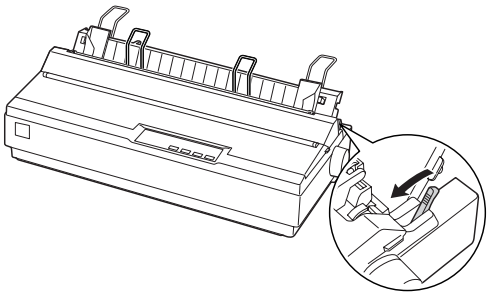
プリンタ後方（プッシュトラクタ）にセットした連続紙の給紙と排紙方法を説明します。

> **参考**
> ラベル紙はプッシュトラクタから給紙できません。

連続紙をスムーズに給紙するために､以下のような配置でプリンタをお使いください｡

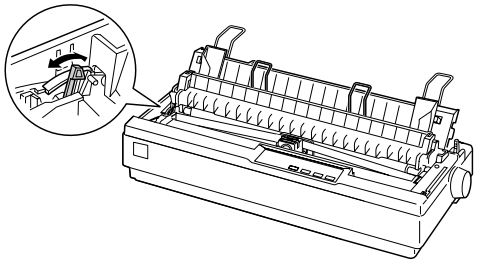


1 プリンタの電源を切ってから、レリースレバーを連続紙（）側に倒します。

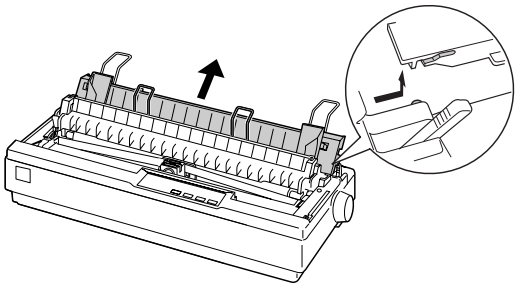


2 プリンタカバーを開けて、アジャストレバーを複写紙の枚数に合わせて設定します。

☞ 本書 19 ページ「アジャストレバーの設定」

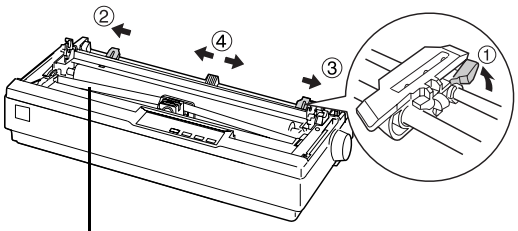


3 用紙ガイドを引き上げ、手前にずらして取り外します。



4 スプロケットのロックを解除し、連続紙のサイズに合わせて位置を調整します。

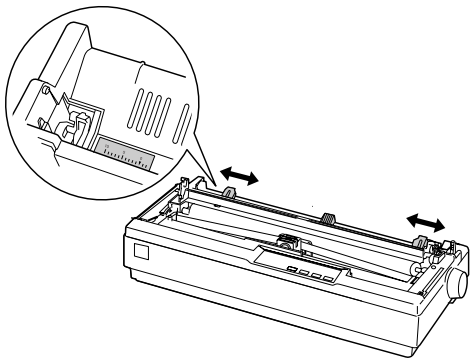
左右のスプロケット固定レバーを上げてロックを解除します。左のスプロケットは、印刷位置目盛りを参考に位置を決め、固定レバーを下げてロックします。右のスプロケットは連続紙のピン穴に合わせてロックします。センターサポートを左右のスプロケットの中央に移動させます。



細部をご覧いただくために、イラストは排紙ユニットを取り外した状態のものを使用していますが排紙ユニットを取り外す必要はありません。

参考

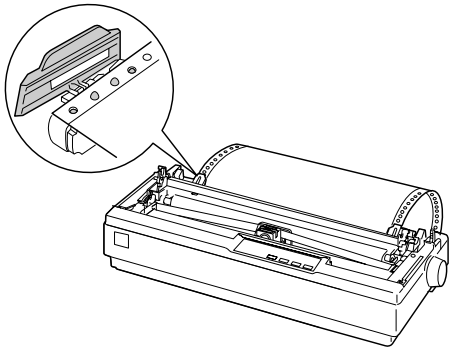
目盛りの［0］の位置が、1 桁目の印刷開始位置です。目盛りの間隔は 2.54mm（1/10 インチ）になっています。連続紙の端を目盛りの［10］位置に合わせると、印刷開始位置までの余白（マージン）が 25.4mm（1 インチ）に設定されたことになります。



プリンタドライバを経由して印刷するときは、用紙の端を［0］に合わせ、アプリケーション上で余白（マージン）を設定して印刷してください。

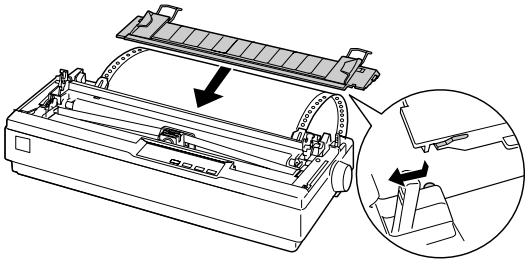
5 スプロケットカバーを開けて、連続紙をセットします。

連続紙がたるんだり、きつく張りすぎているときは、右のスプロケットの位置を調整してください。



6 用紙ガイドを取り付けます。

用紙ガイドをプリンタと水平になる状態にして、プリンタ側の突起を用紙ガイドの溝にはめ込みます。そのまま手前にずらして固定します。



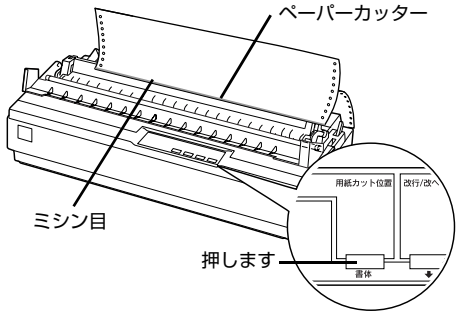
7 プリンタの電源を入れます。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

!注意

- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回して排紙したり、連続紙がプリンタ内に給紙された状態でトラクタから用紙を外して引き抜いたりしないでください。印刷開始位置がずれたり、プリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。
- 給紙されないときは、連続紙をセットし直してください。
- 斜めに給紙されたときは、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

8 印刷が終了したら、［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

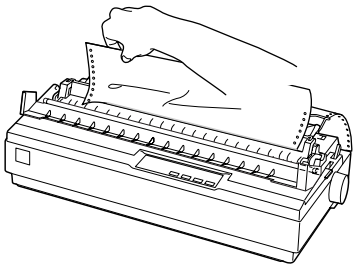


参考

- 自動ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。設定方法は以下を参照してください。
  ☞『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」
- プリンタ後部のプッシュトラクタからの給紙で、切断するミシン目と用紙ガイドのペーパーカッターの位置がずれているときは微小送りで調整してください。
  [印刷可] スイッチをブザーが鳴るまで押す（ [印刷可] ランプ点滅）ことで［改行 / 改ページ］と［給紙 / 排紙］スイッチが［微小送り］スイッチとして機能するようになります。
  * [⬆] スイッチを押すと、用紙は用紙ガイド側へ約 0.14mm（1/180 インチ）単位で送られます。
  * [⬇] スイッチを押すと、用紙はリアプッシュトラクタ側へ約 0.14mm（1/180 インチ）単位で送られます。

  微小送りの詳細は以下を参照してください。
  ☞『取扱説明書 - 詳細編』（PDF マニュアル）－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

9 **印刷が終了したページをミシン目で切り離します。**



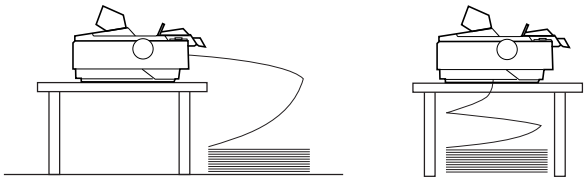
10 **[用紙カット位置] スイッチを押して給紙位置へ戻します。**

[給紙 / 排紙] スイッチを押すと、トラクタまで連続紙が戻ります。
電源を切る場合は、連続紙をスプロケット位置まで戻しておいてください。

以上で終了です。

後方 / 底面(プルトラクタ)から給排紙

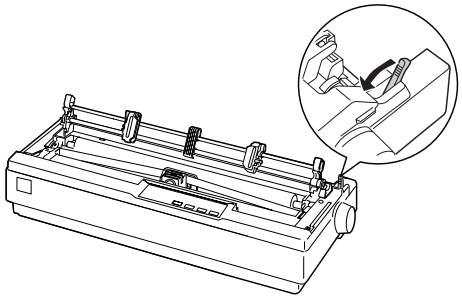
プリンタ後方および底面（プルトラクタ）にセットした連続紙の給紙と排紙方法を説明します。
ラベル紙は、必ず底面から給紙してください。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。



1 **プリンタの電源を切ってから、トラクタユニットをプルトラクタ位置へ付け替えます。**

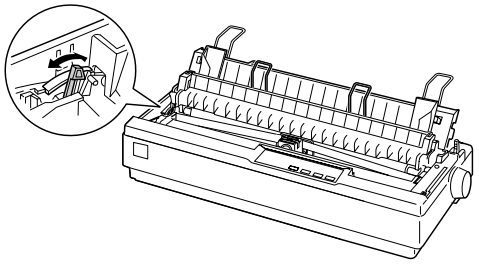
以下のページを参照して、付け替えてください。
☞ 本書 20 ページ「トラクタユニットの付け替え」

2 **レリースレバーを連続紙（📄）側に倒します。**



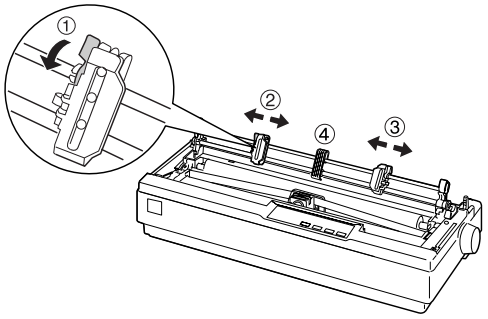
3 **プリンタカバーを開けて、アジャストレバーを複写紙の枚数に合わせて設定します。**

☞ 本書 19 ページ「アジャストレバーの設定」



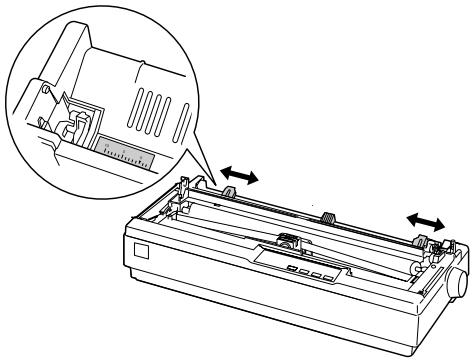
4 スプロケットのロックを解除し、連続紙のサイズに合わせて、位置を調整します。

左右のスプロケット固定レバーを手前に倒してロックを解除します。左のスプロケットは、印刷位置目盛りを参考に位置を決め、固定レバーを倒してロックします。右のスプロケットは、連続紙のピン穴に合わせてロックします。センターサポートを、左右のスプロケットの中央に移動させます。



参考

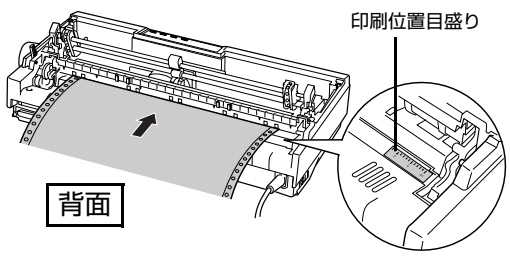
目盛りの [0] の位置が、1 桁目の印刷開始位置です。0 の位置から印刷を開始したいときは、スプロケットを 0 より左側に固定する必要があります。目盛りの間隔は 2.54mm（1/10 インチ）です。連続紙のミシン目位置を目盛りの 10 に合わせると、印刷開始位置までの余白（マージン）を 25.4mm に設定したことになります。



プリンタドライバを経由して印刷するときは、用紙の端を [0] に合わせ、アプリケーション上で余白（マージン）を設定して印刷してください。

5 プリンタ後部の挿入口またはプリンタ底面の挿入口から連続紙を差し込み、1 ページ目のミシン目がリボンと同じ位置になるまで引き出します。

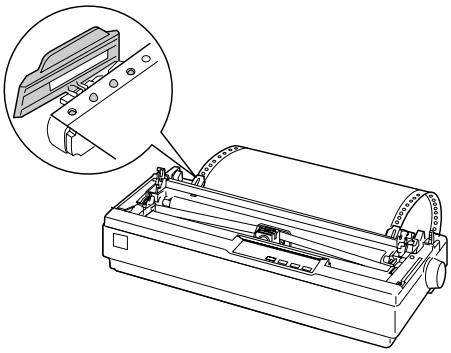
プリンタ後部から連続紙を差し込む場合は、印刷位置目盛りを目安にして差し込みます。



参考

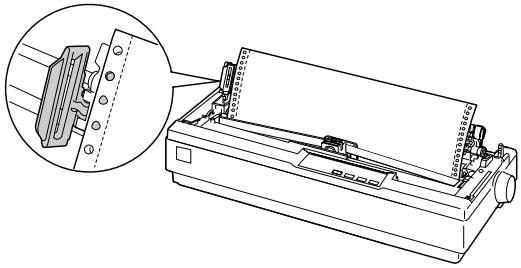
プッシュトラクタとオプションのプルトラクタユニットを併用しているときは、以下のページの手順に従ってプッシュトラクタに連続紙を取り付けた後、電源を入れ、[改行 / 改ページ] スイッチを押して連続紙を送り出します。その後 6 の手順に進みます。

☞ 本書 21 ページ「後方（プッシュトラクタ）からの給排紙」



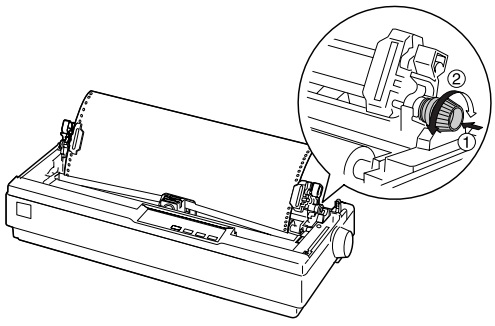
6 左右のスプロケットを開き、連続紙をセットして閉じます。

右のスプロケットは、連続紙がたるんだり、張り過ぎたりしない位置に調整して固定してください。



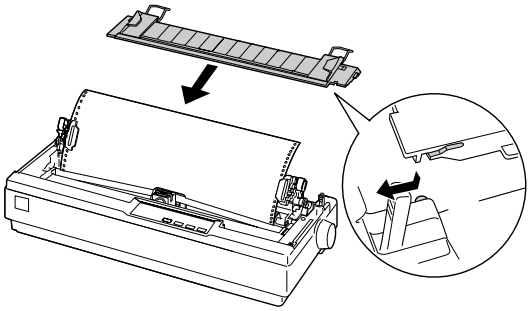
参考

プッシュトラクタとオプションのプルトラクタユニットを併用しているときは、プルトラクタユニット右側のツマミを押して回して用紙のたるみを取り除きます。



7 **用紙ガイドを取り付けます。**

用紙ガイドをプリンタと水平になる状態にして、プリンタ側の突起を用紙ガイドの溝にはめ込みます。そのまま手前にずらして固定します。



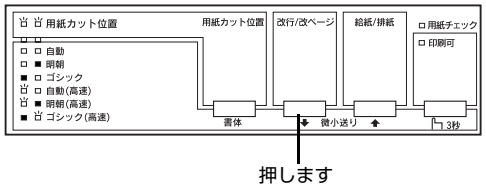
8 **プリンタの電源を入れます。**

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

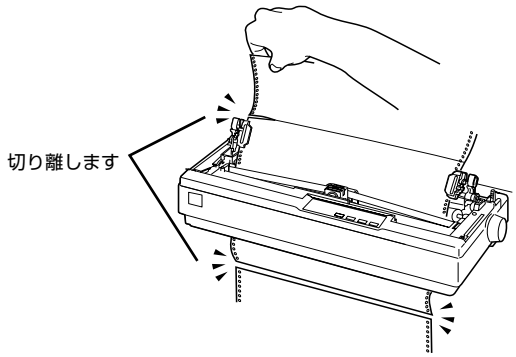
!注意

- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回して排紙したり、連続紙がプリンタ内に給紙された状態でトラクタから用紙を外して引き抜いたりしないでください。印刷開始位置がずれたり、プリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。
- 給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 斜めに給紙された場合は、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

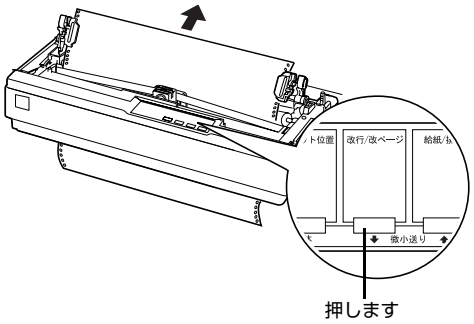
9 **印刷が終了したら、[改行 / 改ページ] スイッチを押して改ページします。**



10 **印刷が終了したページと、印刷に使用しないページをミシン目で切り離します。**



11 **[改行 / 改ページ] スイッチを押してプリンタ上面から排紙します。**



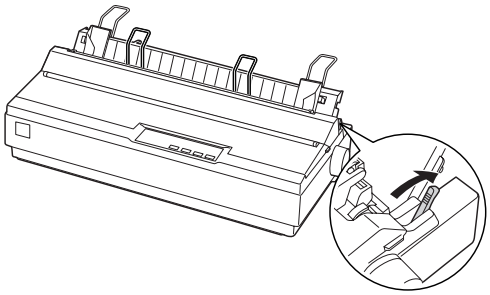
以上で終了です。

単票紙の給紙と排紙

単票紙は、用紙ガイドからの手差し給紙（一枚ずつ）と、オプションのカットシートフィーダからの連続給紙ができます。オプションのカットシートフィーダの取り付けは以下を参照してください。

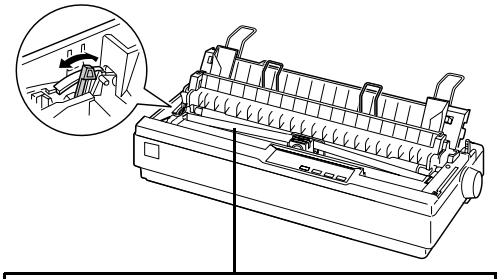
☞『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）－「カットシートフィーダ」

1 **プリンタの電源を切ってから、レリースレバーを単票給紙側（⎕）に倒します。**



2 **プリンタカバーを開けて、アジャストレバーを複写紙の枚数に合わせて設定します。**

☞ 本書 19 ページ「アジャストレバーの設定」

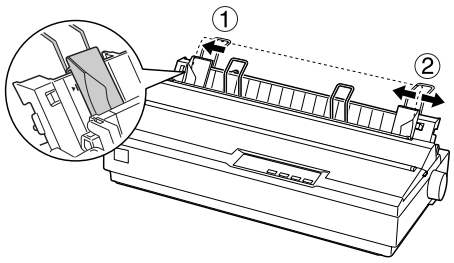


細部をご覧いただくために、イラストはプリンタカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

3 **左のエッジガイドを用紙ガイドのマーク（⋈）の右側に合わせ、右のエッジガイドを単票紙の幅に合わせます。**

定形紙は以下を参照して正しくセットしてください。

☞ 本書 18 ページ「印刷できる用紙」



参考

- 左のエッジガイドの位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を調整してください。
- A3 横の単票紙は、左のエッジガイドを用紙ガイドのマーク（⋈）の左側にずらして紙幅に合わせてください。

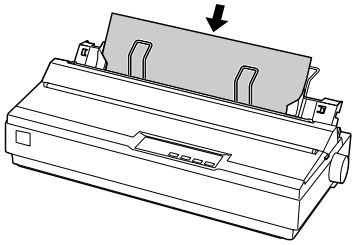
4 **プリンタの電源を入れます。**

5 **用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。**

用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

用紙は以下の点に注意してセットしてください。

- 印字面を裏側にしてセットすること
- 複写紙はのり付け部分を下にしてセットすること



!注意

プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。

6 **印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。

以上で終了です。

連続紙と単票紙の切り替え

プッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて給紙することができます。

連続紙から単票紙への切り替え

連続紙の先端がリアプッシュトラクタの位置にある場合は、4 から進めてください。

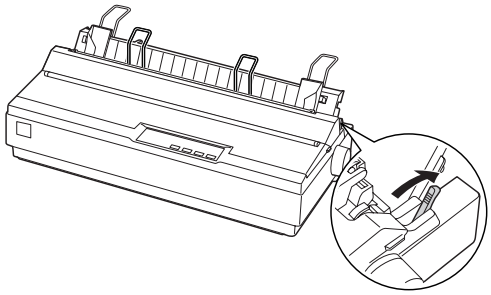
1 **連続紙の印刷が終了したら、[用紙カット位置] スイッチを押します。**
連続紙がミシン目カット位置まで紙送りされます。

2 **連続紙を切り離します。**

3 **[給紙 / 排紙] スイッチを押します。**
セットした連続紙はトラクタの位置まで戻りますが、トラクタからは外れません。

4 **用紙ガイドから給紙する場合は、用紙ガイドを起こします。**

5 **プリンタ右側のレリースレバーを単票給紙側（□）に倒します。**



6 **連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**
☞ 本書 19 ページ「アジャストレバーの設定」

7 **単票紙を用紙ガイドまたはカットシートフィーダ（オプション）にセットします。**
用紙ガイドにセットする場合は、エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。
☞ 本書 26 ページ「単票紙の給紙と排紙」

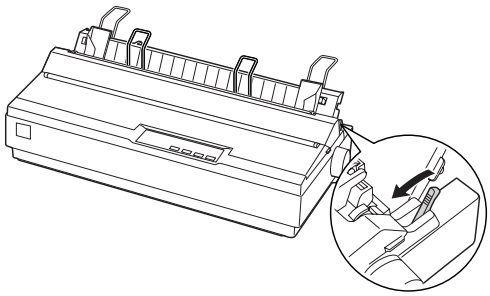
8 **印刷を実行します。**

以上で終了です。

単票紙から連続紙への切り替え

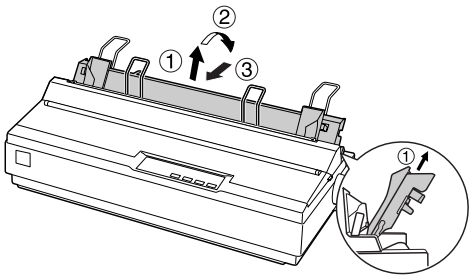
1 **単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。**
印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。

2 **プリンタ右側のレリースレバーを連続紙側（）に倒します。**



3 **単票紙と連続紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**
☞ 本書 19 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **用紙ガイドを連続紙位置に倒します。**
用紙ガイドを上方に持ち上げてからプリンタ後方に倒し、手前に押し込み固定します。



5 **印刷を実行します。**
印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

以上で終了です。

リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジ（またはリボン）を交換してください。

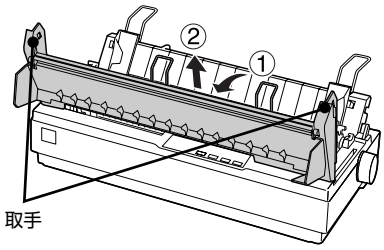
参考
- リボンパック（#7755）は、リボンカートリッジ（型番：#7754（黒））内部のリボンだけを交換するものです。１つのカートリッジにつき４回までリボン交換ができます。
- リボンカートリッジは純正品（型番：#7754（黒））のご使用をお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。

以下の手順でリボンカートリッジを交換します。

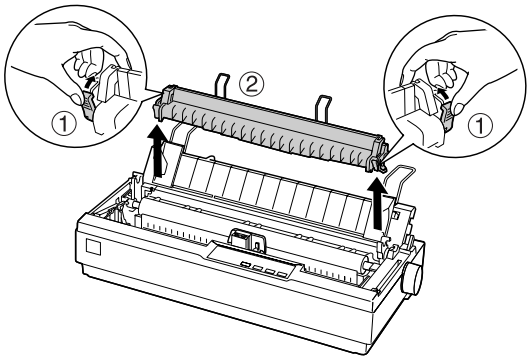
⚠注意
プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

1 **プリンタの電源を切ります。**

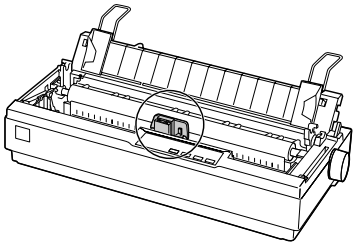
2 **プリンタカバーを取り外します。**
奥側のカバーを手前に起こしてから、カバー左右の取っ手に指をかけ、手前に起こすようにして取り外します。



3 **排紙ユニット両側のツマミをつまんで、後方に回転させるようにして取り外します。**

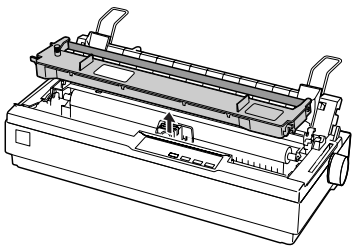


4 **プリントヘッドが図のような位置にあることを確認します。**
図の位置にない場合は、プリンタの電源を入れて切ってください。電源オフ時にプリントヘッドは図の位置で停止します。



！注意
電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

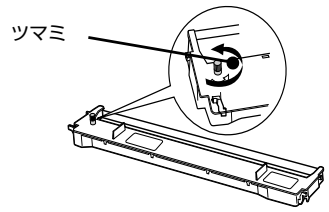
5 **リボンカートリッジの両端を持ち、引き上げるようにして取り外します。**



参考
使用済みのリボンカートリッジは、ポリ袋などに入れてリサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
また弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みカートリッジ回収ポスト」を全国のパソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

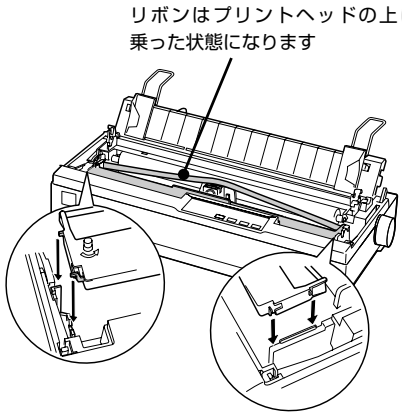
6 **新しいリボンカートリッジを袋から取り出し、リボンのたるみを取ります。**

リボンを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。

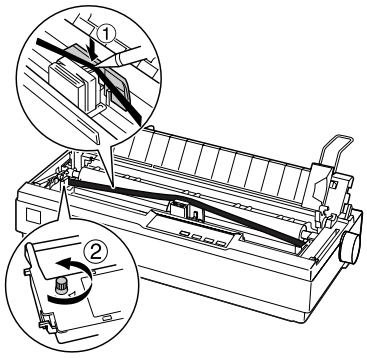


7 **リボンカートリッジの突起をプリンタ両側の溝に合わせ、固定されるまで押し込みます。**

カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

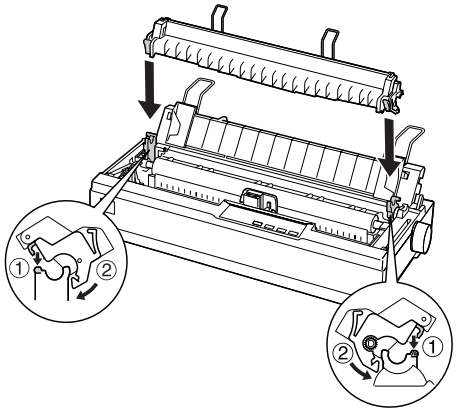


8 **リボンカートリッジのツマミを回しながら、ボールペンなどを使ってリボンを印字位置（プリントヘッドと同じ位置）まで下方に送ります。**

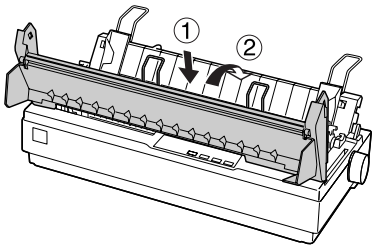


リボンカートリッジのツマミを再度回して、リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンがねじれたり折れていないことを確認してください。

9 **排紙ユニット両側のフックをプリンタ側に引っ掛け、ユニットの下部を押し込むようにして取り付けます。**



10 **プリンタカバーを取り付けます。**



以上で終了です。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱されているソフトウェア CD-ROM に収録されている『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

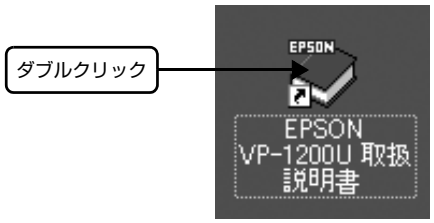
- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンタを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 紙詰まりや印刷できないなど、困ったときの対処方法
- プリンタ本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。コンピュータに PDF 閲覧ソフトウェアがインストールされていない場合は、本製品に同梱のソフトウェア CD-ROM に Adobe Reader が収録されていますので、事前にインストールしてください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 **ソフトウェア CD-ROM から取扱説明書（PDF マニュアル）と Adobe Reader をインストールします。**

2 **デスクトップの［EPSON VP-1200U 取扱説明書］アイコンをダブルクリックします。**
「取扱説明書－詳細編」が表示されます。



参考 デスクトップに上記のアイコンが表示されていないときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［EPSON］-［EPSON VP-1200U 取扱説明書］をクリックしてください。

各種サービス･サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス･サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーション センター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☞ 本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます（東京･大阪）。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☞ エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください。	☞ 本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☞ 次項「保守サービスのご案内」

＊「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代·部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 • 修理のつど発生する修理代·部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。 • 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 ＊消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	有償 （出張料のみ）	出張料 + 技術料 + 部品代 修理完了後そのつどお支払いください。
持込 / 送付修理		修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドアサービス		• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 + 修理代）

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　　：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

EPSON

EPSON VP-1200U セットアップと使い方の概要編

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、（042）511-2949におかけくださいますようお願いいたします。
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 ナビダイヤル **0570－090－090** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8088 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、下記番号におかけくださいますようお願いいたします。
インフォメーションセンター：042-585-8581
購入ガイドインフォメーション：042-585-8444
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌（011）221－7911　東京（042）585－8500　名古屋（052）202－9532　大阪（06）6397－4359　福岡（092）452－3305

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ http://myepson.jp/ ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp
またはフリーコール 0120－251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2006. 3